

みやま市公共交通体系 見直し検討案について

1. みやま市の公共交通体系の再編方針
2. 10月以降の実証実験の内容
3. 今後のスケジュール

1. 【前回の振返り】みやま市の公共交通体系の再編方針

(1) 予約制乗合タクシー実証実験の評価

●予約制乗合タクシー実証実験の検証の結果、「利用者にとっての利便性が向上している」、「利用者の満足度が高い」、「利用者への負担が過度ではない」ことが確認でき、「予約制乗合タクシー」は、みやま市における有効な交通サービスであると考えられます。

	得られた結果
<定量的検証> (利用実績より)	●地域内を移動する短距離ユーザーと、地域をまたぐ移動をする長距離ユーザー、どちらも確認されました。 ●コミバス(くすっぴ一号)のルートと重ねてみると、コミバスでは乗り換えが必要で所要時間が長くなる行先への移動に、乗合タクシーが利用されている様子も確認されました。 ●往復での利用や複数回利用のユーザーも確認できたことから、利用者からは一定の評価を得ていると想定されます。
<定性的検証> (各種アンケート、ヒアリングより)	●利用者の満足度は高く、本格導入時の利用意向に対しても、ほとんどの方が「利用したい」と回答するなど、利用者からは一定の評価を得られたことが確認できました。 ●公共交通に関心の低い層からは、「今は自分で移動できるため必要ない」との意見が多数でしたが、行政区内における移動に関する困り事に対しては、「路線バスやコミュニティバスの利便性が低い」や「高齢者が自家用車の運転に不安を抱えている」、「タクシーを利用したいが経済的な負担が大きい」などの意見が上がっていました。 ●コミュニティバスの利用者は、予約制乗合タクシーに対して、事前予約やサービスがよくわからないと言った理由から、利用まで至っていない状況もうかがえました。

第二期実証の改善項目は有効

『利用者にとっての利便性が向上している』
『利用者の満足度が高い』
『利用者への負担が過度ではない』

『予約制乗合タクシー』は
みやま市において有効性が高い



※ただし、全域での実証による供給量の限界値の確認や観光客等来街者への適応性については今後も検討が必要

1. 【前回の振返り】みやま市の公共交通体系の再編方針

(2) みやま市の公共交通体系の方向性

- 「予約制乗合タクシー実証実験の効果検証」と「コミュニティバスの評価」を踏まえ、みやま市の公共交通体系の方向性を整理しました。
- そして、新たな交通サービスを比較検討するため、①～③の3つの検討パターンを設定しました。

	みやま市の公共交通体系の方向性
予約制乗合タクシー 実証実験の効果検証	●「利用者にとっての利便性が向上している」、「利用者の満足度が高い」、「利用者への負担が過度ではない」ことを踏まえ、『予約制乗合タクシー』は、みやま市における有効な交通サービスである
コミュニティバスの 評価	●1号車と2号車は、利便性や費用面を踏まえ、再編検討を行う → コミバスとして残す可能性あり ●3～6号車は、コミュニティバスから別の交通サービスへの転換を図る → コミバスとしての路線は廃止



検討パターン	検討パターンを比較する際の条件
① コミバス(1号及び2号)+予約制乗合タクシー	・コミバスは1号、2号の2系統に縮小して運行 ・予約制乗合タクシーは3台導入
② コミバス(2+ α 系統)+予約制乗合タクシー	・コミバスは2系統に縮小、かつ、新規あるいは既存路線の一部を運行 ・予約制乗合タクシーは3台導入
③ 予約制乗合タクシー	・コミバスは廃止 ・予約制乗合タクシーは4台導入

1. みやま市の公共交通体系の再編方針

(3) 検討パターンの考察

比較検討パターン	利用者の負担／回	市の財政負担見込み	考察
① コミバス(1号及び2号) + 予約制乗合タクシー	○コミバス 50円～100円	4,940万円	・利用者本人が望むサービス内容によって選択可能で、利便性が高い。 ・これまでの実証で得られたデータから、①案で輸送量等の問題はない。
② コミバス(2+ α 系統) + 予約制乗合タクシー	○予約制乗合タクシー 300円～500円	5,740万円	
③ 予約制乗合タクシー	300円～500円	4,300万円	・幹線移動の速達性や多人数輸送の課題

1. みやま市の公共交通体系の再編方針

(4) 運賃の受容性について

①交通費、自動車等関係費（令和元年家計調査）

●福岡県では、交通費に平均4,600円/月・世帯、自動車等関係費に平均16,400円/月・世帯を支出しています。

	福岡県	全国
交通費※1	4,603円	5,220円
自動車等関係費	16,418円	19,586円
自動車等購入※2	3,876円	5,055円
自動車等維持※3	12,542円	14,531円

※1:鉄道運賃、鉄道通学定期代、鉄道通勤定期代、バス代、バス通学定期代、バス通勤定期代、タクシー代、航空運賃、有料道路料、他の交通
※2:自動車購入、自動車以外の輸送機器購入
※3:ガソリン、自動車等部品、自動車等関連用品、自動車整備費、自動車以外の輸送機器整備費、年極・月極駐車場借料、他の駐車場借料、レンタカー・カーシェアリング料金、他の自動車等関連サービス、自動車保険料(自賠責)、自動車保険料(任意)、自動車保険以外の輸送機器保険料

●予約制乗合タクシーを日常の交通手段とする場合、5,000円～20,000円の交通費となる見込みとなります。

	300円/回	500円/回
外出頻度:週に2回	4,800円	8,000円
外出頻度:週に5回	12,000円	20,000円

②他地域の予約制乗合タクシーの運賃

●筑後地域での予約制乗合タクシー運賃は下表のとおりです。

	運賃		名称
小郡市	200円～1,000円	距離別 2～6km	のるーと小郡
	300円	一律	おごおり相乗りタクシー
大刀洗町	500円	一律	ひばり号(のりあい定額タクシー)
広川町	200円	町内一律※1	ふれあいタクシー ※1 町内から久留米市「日高整形外科病院」までを含む ※2 町内から八女市「堀川バス八女営業所(福島)」、「八女公立病院」の2か所のみ
	400円	町外※2	
八女市	300円	エリア内	八女市予約型乗合タクシー
	400円	エリア間の移動	
大牟田市	300円	エリア内	玉川のりあいタクシー
	700円	ゆめタウン大牟田行	

【補足】以下の6市町では、区域運行型のコミュニティ交通は運行していない
「うきは市」、「久留米市」、「筑後市」、「大木町」、「大川市」、「柳川市」

1. みやま市の公共交通体系の再編方針

(5) みやま市の公共交通体系の方向性

●新たな交通の検討パターンの比較を基に、

- 現在のコミュニティバスにかかる運行経費約4,900万円に対して、**コミバス(2系統+予約制乗合タクシー)**は同程度。
- 運賃は、いずれの案も**低廉で利用しやすい**。特に、**コミバス+予約制乗合タクシー**は選択肢があり、利用者のニーズに応じた交通サービスが利用可能。また、運賃を300円、500円とする場合の年間費用は、**県内の世帯家計における交通費(自家用車関連費用含む)と同等**である。なお、**価格は筑後地域の他自治体と比較しても一般的**である。
- 安全面は、いずれの案もタクシー運転士が担っており、**安全性が高い**。
- **利用者も、いずれにおいても限定することなく誰でも利用が可能で広くサービス提供が可能**。
- **速達性は、いずれの案も現在のコミュニティバスよりは格段に改善が図られる**。
- コミュニティバスと予約制乗合タクシーを組み合わせは、**定時定路線の特徴でもあるルートとダイヤのわかりやすさと、区域運行の特徴でもある自宅や目的地近くまで輸送してもらえる便利さを兼ね備えており、運営面においても現状と同等であるため、有意である**。

今後のみやま市の公共交通体系は

・**コミバス(1号及び2号)と予約制乗合タクシーの組み合わせ**を基本的な方向性とする。

(コミバス3号から6号の廃止は2月末を予定)

2. 10月以降実証実験の内容

●R7年度の実証実験の内容を以下に示します。

実証期間	2024年10月	2024年11月	2025年2月	2025年10月以降
運行の態様	区域運行	区域運行	区域運行	区域運行
営業区域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
対象者	山川高田地区	瀬高地区	山川高田地区	市内居住者+外来者含む (電話・アプリでの登録必要)
	居住者	居住者	居住者	
乗降地点・制限事項	どこでも乗降可		どこでも乗降可	どこでも乗降可
	乗降の内どちらかは自宅		乗降の内どちらかが自宅 又はMP	
運行業務委託事業者	市内タクシー事業者3社		同左	同左
運行曜日	月～土(祝日を含む。)		同左	同左
運行時刻 (乗車時間帯)	8:45～17:00		8:45～17:00	同左
運行台数	3台(セダン)		同左	同左
利用料金	一律300円		5キロ未満 300円	5キロ未満 300円
			5キロ以上 500円	5キロ以上 500円
予約方法	電話・アプリ		電話・アプリ	電話・アプリ
	(前日から当日60分前まで)		(7日前から当日60分前まで)	同左
電話予約受付時間 アプリは24時間受付	8:30～16:00		8:30～16:00	平日の8:30～16:00
電話受付委託事業者	瀬高交通		同左	同左
決済方法	現金のみ		同左	同左
事業許可	21条許可		21条許可	21条許可 ⇒ 4条

3. 今後のスケジュール

●令和7年度は、前年度の検討結果を踏まえた、より実装に近い実証運行に取り組みます。その中で予約制乗合タクシーの利用定着を図りながら、効果や課題を確認し、本格運行への移行の可能性を検討します。



議題

- ・交通体系再編案
- ・実証運行

議題

- ・R8フィーダー補助

議題

- ・本格運行

運賃協議会も開催